

保健福祉企画総務課長 様

道路保全課長 服部幸男

設計支援委員会結果報告書

平成19年12月設計支援委員会に付議した、下記の施設整備事業について、結果を報告します。

記

事業名 (整備概要)	市道南方柳町線歩道舗装修繕工事 (自転車通行帯と歩行者通行帯の分離、それに伴う点字ブロックの移設及びインターロッキングブロックの修繕)	
設計支援委員からの意見		具体化の結果・状況
<ul style="list-style-type: none">・インターロッキングブロックは通りにくい。舗装にすべき。カラー舗装とは別の景観を損なわないものもある(県立図書館前)。人々にとって歩きやすく、維持補修・金額の面から考えても舗装がよい。・民間で工事をした後にアスファルトで舗装していることがあるが、景観が悪くなる。・高齢者・車椅子の人にとって、進行方向に対して横断方向に傾斜をつけることは危ない。		<ul style="list-style-type: none">・全国的にも広く使用されているブロックであり、過去の整備を生かした修繕・整備をしたい。また、調査の結果、車椅子の振動はブロックの方がアスファルト舗装よりも少ないという試験結果もある。・道路管理者として、指導する。・水の流れの勾配を考えると、フラットにすることは難しいが、できるだけ、善処する。